

ふるさとを誇りに思う子を育てる河合町振興協議会

対象学校名等	飛騨市立河合小学校	対象学年	全学年
支援活動内容	河合町振興協議会による学校行事の共同運営		

学校の願い

平成23年に河合中学校が古川中学校に統合した。地域に唯一残った河合小学校を盛り上げ、子どもたちにふるさとを愛する心を育てようと、河合町振興協議会が学校支援に取り組み始めた。このことは、『自分に自信を持ち、ふるさとを誇りに思う子』の育成に取り組んでいる河合小の教育活動と方向を同じくしていて、地域住民と学校が協働しながら、子育てに力を注いでいる。少子化により教育活動の規模が小さくなっていく状況にあるが、地域をあげての支援によって大きな盛り上がりを見せている。地域住民の支援を肌を感じながら、子どもたちの心の中に、郷土の人たちの温かさや郷土を誇りに思う気持ちが育まれている。

コーディネーターの関わり方

地域振興を目的として、町内の有志を中心に組織されている河合町振興協議会では、その中の「河合っ子応援部会」を中心に、各学期に1~2回程度、校長・教頭・PTAも交えて会議を行い、学校支援の企画・運営に携わっている。学校行事に地域住民が参加しやすい環境を作ること子どもたちとのふれあいの場面を作ったり、地域の伝統文化継承のために子どもたちの体験場면을企画したりなどしている。

【河合小学校ふるさと大運動会】

- ・地域種目（住民参加の3種目）について、老若男女が参加できるような種目の計画と運営
- ・子どもの名前をわかりやすくするためのゼッケン（名札）の購入、配布
- ・シャトルバスの運行による交通確保、参加を呼びかける地元楽団の早朝巡回演奏
- ・ひまわり会や豆菜会(同協議会)と連携して、地域の参加者向け昼食の販売
- ・参加を促す広報活動として町内広報無線での放送、ケーブルテレビによる参加を呼びかけ

【河合小学校ふるさと学習発表会】

- ・運動会と同じような広報活動やシャトルバスの配備
- ・昼食時の餅つき体験と餅のふるまい

【クロスカントリー教室】

- ・親雪部会(同協議会)によるクロスカントリー教室をコーディネート
- ・指導、コース作り、用具のレンタル運搬など

【大きな輪になろう盆踊り】

- ・古川町で行われる市内の盆踊り交流会への参加企画（20名程度の児童と河合町地域ゆかりの市民が踊る）



活動の工夫や成果

- ・地域住民と子どもたちがふれあう場面が増え、学校の取り組みを理解してもらったり、子どもとのふれあいを身近に感じてもらったりする場になった。
- ・地域住民の願いを子どもたちが感じ、郷土を誇りに思う気持ちが育まれている。
- ・学校で行うふるさと教育について、子どもたちが意欲的な姿勢を示すようになってきた。
- ・地域住民の感動や驚きを子どもたちに伝えることによって、子どもたちが自己有用感を持ち、自信が持てるようになってきている。